

2010

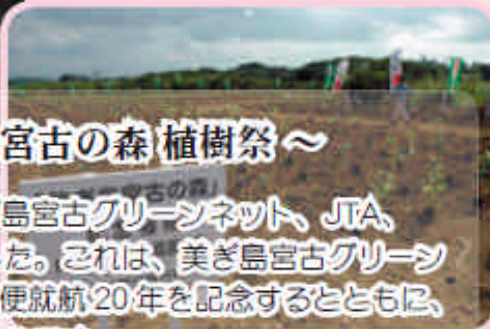
1

No. 52

Miyakojima City
Public Relations

広報

みやこ



緑あふれる森へ ～美ぎ島宮古の森植樹祭～

12月12日、美ぎ島宮古の森植樹祭(主催:沖縄県、美ぎ島宮古グリーンネット、JTA、NPO法人美ぎ島宮古島)が宮原地区の竹林公園で行われました。これは、美ぎ島宮古グリーンネットが実施する植樹活動の25回目と、JTAの宮古～東京便就航20年を記念するとともに、沖縄県が推進する全島緑化県民運動をあわせて実施されたものです。

植樹祭には、地元住民をはじめ、行政関係機関やみどりの少年団、環境活動家のマティアス・ザルバーさんなど約200人が参加。ブソウゲやクロヨナ、ヤブツバキなどの苗木約1500本を「緑あふれる森になれ」との思いを込めながら植樹しました。

今月の主な内容

新年の挨拶P2

宮古島のわだいP7

おしらせ(1月10日は110番の日ほか)P8





時代に合った各種政策の推進を



宮古島市長 下地 敏彦

新年あけましておめでとうございます。二〇一〇年の輝かしい新春を迎えるにあたり、謹んで市民の皆様へ新年のご挨拶を申し上げます。

時が経つのは早いもので、市長に就任させて頂き早一年を迎えようとしております。昨年は、市民の皆様や市議会議員の方々のご協力・ご理解のもと市政運営に全力で取り組んで参りました。

新春を迎え、「環境に優しく、健康で活力あるまちづくり」に、引き続き皆様のご協力を頂き頑張つて参りたいと決意を新たにしているところでございます。

今日の地方財政は非常に厳しい状況であり、地方公共団体は無駄を省き、簡素で効率的な行政運営を推進し、より充実した市民サービスの提供に努めて行かなければなりません。本市の財政状況も厳しい状況下に変わりはなく、このため、新年度から第二次集中改革プランに基づき、行財政改革を一層進めて参ります。

昨年は懸案でありました葬祭場の建設に着手するとともに、新図書館の建設場所を宮古病院跡地に決定いたしました。

また、肉用牛の振興の観点から「畜産課」を新設するなど組織機構の一部を見直したほか、宮古島発展の礎を築いてこられた七十歳以上の全ての市民に「敬老祝い金」を支給しました。

更には、未来の宮古島市を担う児童・生徒達の島外派遣費補助金を増額する等、行政の各分野においてメリハリのあり事業推進に努めて参りましたが、今後とも本市の未来のために時代に合った最も良い方向性を求めて各種政策を推進して参ります。

今年度は合併して五年目を迎えます。合併して良かった、と全市民が実感できるような宮古島市づくりに全力で取り組んで参ります。特にエコアイランド及び農林水産業の推進、経済活性化と雇用の促進、医療・福祉の充実、教育の充実及び観光・スポーツの振興、新ごみ処理場の着実な推進に全力を挙げて取り組んで参りますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様に取りまして良き年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

新年賀謹



地域の代表機関として諸施策に責任ある判断を



宮古島市議会議長 下地 明

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は市議会に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。さて、世界規模の経済の後退は未だ好転せず、国内はもとより、本市においてもその影響は大きく財政状況は、依然として厳しい現状に直面しております。

今こそ、市民と行政が一体となり、諸問題の解決を図る事が肝要であり、本年も市民各位のお力添えをお願い申し上げます。次第であります。

ところで、厳しい中にも将来を明るく展望する兆しもございます。

本市は昨年、環境モデル都市に認定され、温室効果ガスの削減に向けた取り組みを開始したところですが、エコアイランド宮古島を推進し、低炭素社会の先進地となりますれば、他自治体からの視察

や観光客の増加にも大きく寄与するものと考えます。

加えて、本年は全国高校総体バレーボール競技が開催される事になっており、その成功がスポーツアイランド宮古島の名を更に高めるものであり、是非とも成功に向け取り組んで参りましょう。

本年は、宮古島市誕生5年目という節目の年であり、議員一同、例年以上に身の引き締まる思いでいるところでありますが、地域の代表機関として、諸施策に責任ある判断をするとともに、市民の暮らしと健康を守るため、全力を傾注して参る所存でございます。

結びにあたり、二〇一〇年が、全市民にとりまして、「飛躍の年・幸多き年」となりますことを祈念申し上げますとともに、市議会に対し、相変わらぬご協力をお願い致します。年頭の挨拶と致します。

市	市長	下地 敏彦	副市長	棚原 芳樹	総務部長	砂川 正吉	企画政策部長	喜屋武 重三	企画政策部長	古堅 宗和	福祉保健部長	饒平 名建次	福祉保健部長	譜久村 基嗣	経済部長	長濱 博文	経済部長	平良 哲則	建設部長	宮国 泰男	建設部長	友利 悦裕	会計管理者	平良 富男	伊良部支所長	垣花 勝	城辺支所長	狩俣 照雄	下地支所長	與那 嶺大	上野支所長	平良 光成	議事事務局長	荷川 取辰美	教育部長	上地 廣敏	生涯学習部長	長濱 光雄	水道局次長	下地 祥充	消防長	砂川 享一	他職員一同	(二二月一日現在九百四十六名)
---	----	-------	-----	-------	------	-------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-----	-------	-------	-----------------

出身中学別対象者数一覧

学校名	人数
平良	194
北	183
久松	46
鏡原	36
西辺	25
狩俣	17
池間	6
大神	0
砂川	20
西城	22
城辺	16
福嶺	12
上野	43
下地	51
佐良浜	42
伊良部	33
合計	746

平成22年度 宮古島市成人式日程

期 日：平成22年1月5日(火)
会 場：◇平良・城辺・上野・下地地区

マティダ市民劇場
受付 13:00
式典 14:00～15:30

◇伊良部地区
伊良部公民館
受付 13:30
式典 14:00～16:00



☆お問合せは
宮古島市教育委員会(城辺庁舎)
社会教育課 ☎ 77-4946
伊良部分室 ☎ 78-6254



宮古島市教育委員会メッセージ

社会へと旅立つ新成人のみなさんへ

新成人のみなさん、成人の日おめでとうございます。家族や親戚、友人など多くの方から祝福され、成人としてこれからの未来に胸を躍らせる記念すべきこの日、宮古島市教育委員会も心からお慶びを申し上げます。

二十歳を迎え、成人となったみなさんは、社会からも成人として扱われるようになり、個人の自由や権利も大きく拡大します。しかし、それと同時に社会の一員としての義務や責任、社会への積極的な参加も求められるようになります。特に、「選挙権」を持つことにより、自分の生活に関わる政治にも自分の意志で参加しなくてはなりません。

成人の日は、『大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます日』として、一九四八(昭和二十三)年に定められました。その意図である『大人になったことを自覚する』を念頭に置き、自分の理想とする大人、真の意味での成人を目指してください。そして、自分のことだけでなく、家族や友人、周りの人のことも思い考える大人になっ

てください。
これからの社会を担っていくみなさんには、あらゆる可能性があります。晴れて成人として社会の一員となった喜びを忘れず、自分の思い描く大人になるために更なる成長を遂げていくことを心からお祈りいたします。



昨年の成人式の様子

新成人のみなさん
おめでとうございます



この一年間の児童生徒の活躍を称え
更なる精進を期待する

宮古島市教育委員会 教育長 下地恵吉

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、希望に満ちあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は市教育委員会に対し、格別なるご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

さて、昨年は新型インフルエンザが地球規模で流行し、日本列島全域でも猛威をふるい、この宮古島においても児童生徒を中心に多くの患者が続発し、一部には学校閉鎖という深刻な事態も発生しました。新年を迎えてもこの新型インフルエンザは沈静化の兆はなく、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

ところで、平成21年度の本市の児童生徒の文化面、スポーツ面での活躍には目を見張るものがありました。その素晴らしい活躍の一部を紹介しますと、久松中演劇部が県代表となり、県勢では初の「第9回全国中学校総合文化祭」へ出場し、素人ばなれした名演技で久松中の名を全国に轟かせました。また、「第26回伝統的工芸品月間作文コンクール」で上野中2年の兼島梨奈さんが全国都道府県教育委員会連合会会長賞に輝き、「全国書画展覧会」に下地小6年嘉手苺光君が特別賞を受賞、「第9回日本習字全国書席大会」で南小2年根間なつみさんが準大賞受賞。

「第31回全日本中学生水の作文コンクール」で砂川中1年砂川智菜津さんが優秀賞受賞、「第7回滴仙会書法展」に北小1年平良優貴君が大阪府知事賞受賞、第6回真太陽書道展に南小6年砂川久乃さんがグランプリ(真太陽大賞)を獲得、「サツカーナショナルトレセンU-14西日本選抜選手」に平良中2年の宮国泰吾君が選ばれるなど、本市の児童生徒は県内外の各種大会等で枚挙にいとまがない程の大活躍をしております。

これらの目覚ましい活躍の影には、子ども達一人ひとりの努力は勿論、学校・家庭・地域が一体となり、日頃から熱心に取り組んだ成果であり、このような子ども達の県内外での大活躍は私たち市民の大きな誇りでもあります。本市の将来を担う子ども達の成長を温かく見守り、それぞれの個性を引き出し、社会人として一人前に育て上げることは私たち大人の責務であります。

宮古島市教育委員会としても教育行政の立場から前途有望な子どもたちのために、より快適な学習環境の整備に鋭意努力する所存です。結びに、本年も本市の教育にとって、新たな飛躍の年になりますことを祈念するとともに併せて教育委員会に対しても、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます、新年のあいさつと致します。

あけましておめでとうございます

県外宮古郷友会一同



関西・宮古郷友会
会長 譜久島 登（伊良部出身）

新年、あけましておめでとうございます。
ふるさと宮古島も、帰郷する度にすばらしく景観も変わり、順調に基盤整備も進んでいるように思われます。
関西宮古郷友会が新年度の最重要活動として、あの14年前発生した阪神大震災の時、ふるさとからの心暖まる多額の義援金と物心両面からの、心強いご支援を決して忘れない意味から、ふるさと宮古島市民の心の拠り所である宮古神社建設の資金造成のため、最大限に協力することを、昨年12月の拡大役員会で決定いたしました。
関西の郷友達はふるさと宮古島が大好きなので、あの澄みきった青い空、そして海は美しくどこまでも蒼く、豊かな環境の島で生まれ育ちましたことを誇りに思っております。
今年がふるさとの皆様にとりまして、素晴らしく充実した年になりますよう、関西の地からお祈り申し上げます。



九州・宮古郷友会
会長 川満 彰（下地出身）

初春のお祝いを申し上げます。
故郷の皆様には、晴れやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
平素は九州宮古郷友会の活動にご支援ご協力を賜り真にありがとうございます。
昨年は、「九州宮古ふるさとまつり」を大盛會に開催することが出来ました。郷友会会員も増え、故郷の良さを再認識するとともに、親睦の輪が広がっております。
九州の皆さんにも魅力ある宮古島をアピールし、「宮古島を愛する会」も多くの賛同者を頂いております。これからも「博愛の島 美ぎ島 宮古島」を多くの人に知っていただきたく広報宣伝して行きたいと思っております。
ふるさとの繁栄と、肝美ぎ市民の皆さまのご懸賞をお祈り申し上げます。



関東・宮古郷友連合会
会長 宮國 信克（上野出身）

明けましておめでとうございます。
皆様には、希望に満ちた寅年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
私共、連合会は10月25日に東京上野公園内水上音楽堂で宮古島大好きな仲間と共に「第36回ふるさとまつり」を開催しました。各郷友会自慢の踊り、三線演奏、重要無形民俗文化財多良間の8月踊りなど、文化・民謡を披露し、泡盛を飲み交わし、近況を語り合い、クイチャーを踊って親睦を深める楽しい一日でした。
私達はふるさとの文化、民謡を紹介し、良さを再確認し宮古島大好き仲間を増やし、ふるさとの発展に寄与したいと考えています。
皆様方には市制5周年の節目の年、更なる発展、充実した一年になりますよう心からお祈り申し上げます。



広島・宮古郷友会
会長 仲間 洋一（伊良部出身）

新年明けましておめでとうございます。
近年は広島でも不況の嵐が吹き荒れ、明るい話題の少ない昨今です。そんな折、昨年の宮古ふるさとまつりで、下地敏彦宮古島市長より「宮古島は益々元気になり、平成24年には伊良部島に橋が架かる」との話があり、私達も元気づけられました。
広島の郷友は、春の花見、秋の総会・まつりで集い、親睦を深め結束を強めています。また、1月の「全国男子駅伝」、5月の「フラワーフェスティバル」の応援に加わり、島をアピールしています。私達はこれからも、博愛の精神を持ち、宮古島と広島の間架け橋になるべく頑張っております。宮古島の益々の発展をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

うまんかい!がまんかい!

宮古島の話題

【The Topics】

地元の芸能が一堂に

第4回 宮古島市民総合文化祭「芸能祭」

12月6日、「肝は一つ 心は一つ(きむやびてい一つ んみやびてい一つ)」をテーマとした芸能祭(主催:宮古島市、宮古島市教育委員会、宮古島市文化協会)がマティダ市民劇場で開催されました。
宮古島市民文化祭の一環として行われたこの芸能祭には、出場した16団体が磨きをかけた地元の民謡や踊りが披露され、訪れた多くの市民から拍手と歓声を浴びていました。



みんな笑顔で交流

第25回 宮古地区障がい者フェスティバル

11月22日、第25回宮古地区障がい者フェスティバル(主催:宮古地区社協連絡協議会)が上野体育館で行われました。
これは、「誰もが幸せに暮らせる社会、ともに生きる社会」をスローガンとして、障がい者やその家族、中高生ボランティアたちの相互理解を深めることを目的に開催されたものです。
会場となった上野体育館には、魚釣りゲームや輪投げ、フリースローや似顔絵コーナー等、様々なコーナーが設置されたほか、舞台では各施設の余興やカラオケ大会など充実した内容で、ボランティアを含めて約500人の参加者たちは笑顔の交流を楽しみました。



狩俣倫太郎さん

豊かな社会はみんなで育む

第5回 宮古島市生涯学習フェスティバル

11月21・22日の両日、第5回生涯学習フェスティバル(主催:宮古島市教育委員会)が城辺農村環境改善センターで開催されました。
長年にわたって社会活動に貢献した団体・個人の表彰のほか、紙芝居や太鼓演奏、狩俣倫太郎さんの記念講演なども行われ、訪れた多くの市民が生涯学習の意義を再確認していました。



「一筆物語」募集!

- 内容
暮らしの中のちょっとした出来事(30字以内)
毎月掲載者の中から抽選で1名に図書券を進呈
- 応募
ハガキ・FAX・メールで下記まで
※住所・年齢・名前(匿名・ペンネーム可)を明記すること
〒906-8501 宮古島市平良字西里186
広報みやこじま「一筆物語」宛
TEL: 72-3751 (内線304)
FAX: 73-1645
kouhoubosyu
@city.miyakojima.lg.jp

